

学校だより青南

1月号

平成28年1月8日

港区立青南小学校

校長 関 幸治

<http://www1.r4.rosenet.jp/seinan-es/>

実りと充実

校長 関 幸治

新年あけましておめでとう存じます。素晴らしい初日の出とともに、平成28年がスタートいたしました。今年は申年「丙申（ひのえさる）、申には「伸ばす」という意味があり、「草木が十分に伸びきり、実が成熟して香りと味が備わる時期」の意味があるそうです。青南小学校は今年が開校110周年、子供たちには、様々な学びを通して一人一人の力が伸びていけるようにしたいと思います。

さて、本年度の学校経営計画の中期的方策の中で、学校教育目標の実現を図ることを挙げています。「よく考える子」「思いやりのある子」「体をきたえる子」の3つです。その中の「思いやりのある子」とするための一環として、挨拶のできる子供、場に応じた言葉遣いのできる子供に育てることに取り組んできました。月曜日の全校朝会での校長の話、看護当番の教員の話、各学級での取り組み、子供たちが当番で当たる挨拶運動等、様々な取り組みを行ってきました。朝、正門に立って子供たちと挨拶を交わすときにも、その手応えを感じています。年末に御協力いただいた保護者アンケートにも「場に応じた言葉遣いや、気持ちのよい挨拶ができています」という項目では、「よくできている、できている」の評価があわせて90%となっており、保護者の皆様にも子供たちの様子を感じ取っていただけていると思えました。

ところが子供たちの同じ項目の評価は、昨年度の評価に比べ「よくできている、できている」の評価が8%下がっていました。このことをどう捉えるか、副校長たちと考えてみました。結論として、この差は子供たちの自覚の表れではないかと考えました。職員室に来室する際の言葉遣い、お客様への挨拶、子供たちなりにしっかり行っていますが、子供たちにとっては、まだ十分であるとは感じていないのであろうと思うのです。まだまだできる伸びしろがあり、もっともっとやっつけていける、やっつけていかななくてはならないという子供たちの心の声なのでしょう。こういう思いをもっている青南の子供たちです。とても頼もしく、嬉しく感じています。学校でも課題は課題として指導を継続していきますが、どうぞ、各ご家庭でも、子供たちの言葉遣い、挨拶について励ましの言葉をおかけいただければと思います。

また、アンケートの中で、「安全確保」という点において、「入校時のチェックが緩いのでは」というご指摘がありました。現在、正門の警備員と受付の用務主事と2カ所での対応をしていますが、今後は、さらにより確実な対応をしていきたいと思えます。保護者の皆様も、入校証の所持や、受付に声をかけるなど御協力をお願いしたいと思います。

今学期も、子供たち一人一人の努力や頑張りを大いに認め励まし、子供たちのよさをさらに伸ばしていこうと思えます。保護者・地域の皆様のご支援、御協力をなにとぞよろしくお願いいたします。

《1月行事予定》

- 8日(金) 始業式 B時程
安全指導 給食開始
書初め会 (2・6年)
- 12日(火) 放送朝会
書初め会 (1・3・4・5年)
身体計測 (3年)
- 13日(水) B時程 身体計測 (4年)
- 14日(木) お話ポケット (1・2年)
ハンドベル演奏会
保護者会 (1年3組)
委員会活動
身体計測 (5年)
- 15日(金) 避難訓練 保護者会
書初め展 (始)
- 16日(土) 薬物乱用防止授業 (6年)
- 18日(月) 全校朝会 身体計測 (6年)
- 19日(火) 校外学習 (6年)
身体計測 (1年)
- 20日(水) B時程 身体計測 (2年)
- 21日(木) お話ポケット (3・4年)
クラブ活動
- 22日(金) 琴演奏会
- 25日(月) 全校朝会
- 26日(火) 縦割り班活動
- 27日(水) B時程
研究授業 (1年2組)
- 28日(木) お話ポケット (5年)
- 29日(金) 書初め展 (終)



1月の生活目標 【礼儀正しくしよう】

生活指導部

1月の月間目標は「礼儀正しくしよう」です。年末から新年にかけて、子供たちは様々な場面で礼儀正しくいろいろな人たちとあいさつをかわしたことでしょう。年賀状も私たち日本人の伝統的な年頭のあいさつの一つです。

学校では、まず礼儀正しくしようの基本である、言葉遣いに気を付けて話すことを目標に取り組んでいきます。時と場合に応じて、言葉を使い分けることができることは人として、これから社会で生きていくのにとっても大切なことです。美しい日本語の良さにも気付かせていきたいです。

縦割り班活動

12月からは今までリードしてくれていた6年生から5年生へたすきが渡され、5年生が中心となって全体を引っ張っていきます。6年生は5年生を温かく見守ってくれています。



理科室より 理科専科 寺師純子

「くらしに見つけくらしに広げる理科学習」のテーマに取り組み3年目を迎えました。今年は「持ち帰り実験」を用意し、家庭で簡単に学習の追体験ができるようにしました。理科室前の掲示板には家庭でのレポートがたくさん集まるようになりました。

今年も2月20日(土)に理科教育公開講座を実施させていただきます。予定ください。



1年 勉強に、運動に、頑張っています。1年生！！

国語で、「ともだちに、きいてみよう」を学習しました。友達に今一番楽しいと思うことを聞いて、みんなに発表します。今までの学習では、自分のことを話しましたが、友達に取材して、紹介するのは初めてです。どの子も、友達が楽しんでいることを分かりやすく発表しました。その中で、「読書マラソン」や「縄跳び」と発表した子が多くいました。実は、今1年生で、これらがとても流行しています。前单元「むかしばなしがいっぱい」をきっかけに日本や世界の昔話に親しむようになり、それが読書マラソンへとつながり、記録用紙を増やしています。1年生の目標の3000ページを読んだ子もたくさん出ました。また、縄跳びは、上の級の合格を目指して練習し、二重跳びができるようになった子も出て、励ましながら、競争しながら取り組んでいます。算数では、「かたちあそび」を学習しました。家から持って来た箱で仲間集めをしたり、形当てをしたりしました。その後、図工でその箱を使って造形活動を楽しみました。とても頑張っている1年生です。

3年 最高のプレゼント！

12月24日クリスマスイヴの日。3年生の子供たちは、最高に贅沢で幸せな時間というプレゼントをいただきました。それは、太郎さんが愛したピアノの修復作業が終わったことで1日だけ催されたスペシャルコンサートの招待状。届けてくださったのは、岡本太郎記念館の皆様です。総合的な学習の時間にお世話になったことがご縁で実現した、夢のような時間でした。音楽家も一時目指されたという岡本さん。実際にお仕事をされていたアトリエに91年前のピアノが蘇り、そこでプロのピアニストが奏でるその音は柔らかく、子供たちの心に深く染み入ったようでした。子供たちの書いたお礼の手紙には、「何だか心が温かくなりました。」「岡本さんがよく弾いていた♪トルコ行進曲♪を私も弾けるように練習します。」「夢をみているみたいに気持ち良かったです。」「美しい音色に感動しました。」「私も一生懸命がんばる。」などと、素直に感じた子供たちの気持ちが溢れていました。子供たちの心を前向きにさせてくれた最高のクリスマスプレゼントでした。

5年 校外学習「あきる野・みなと区民の森」

11月20日（金）に校外学習であきる野にある「みなと区民の森」に行きました。はじめに全員で森を育てることの意味や方法を聞きました。そして、グループに分かれ実際に間伐を体験したり、間伐した木を使ってコースターを作ったりしました。同じ東京とは思えないほどの、豊かな緑、澄んだ空気の中で、子供たちは気持ちよさそうに生き生きと活動していました。また、普段の生活ではできないことを体験することができ、木を育てるのには手間がかかっていることや、森を守っている人々がいるから豊かな森になることなど、林業の苦勞や大切さを学ぶことができました。この体験を生かし、森を守ってくれている人々への感謝を忘れずに、自然を大切にしていって欲しいと思います。



環境委員会

「地球のためにできることを青南小学校から」というスローガンのもと、環境委員会を校内の環境リーダーとして、エコ活動に取り組んでいます。毎月、「節水」「節電」「リサイクル」の中から環境目標を決め、毎週火曜日に環境委員が各教室を回り、取り組み状況を調べています。その後、目標が達成できた人数20人につき、1つのエコキャップを「エコの花」として貼り付け、掲示しています。

また、教室で出る紙ごみを、リサイクルペーパーとして回収する活動もしています。各教室に、コピー用紙とミックス用紙に分けた回収袋を置き、分別を呼びかけています。1人1人が自分たちの活動に責任をもち、意欲的に取り組んでいます。

エコキャップの回収では、4～10月の間に44720個を送付することができました。ご提供いただいたエコキャップは、医療支援、ワクチン支援等様々な社会貢献活動にあてられています。今後も、ご協力をよろしくお願いいたします。

ボードゲームクラブ

ボードゲームクラブは、6年生2名、5年生4名、4年生2名の計8名の少ない人数で活動しています。おもに、囲碁・将棋・オセロ・チェスのゲームをしています。どの子どもとも興味をもっているため、知っている子に教えてもらいすぐにやり方を覚え、ゲームを楽しんでいます。2学期は、それぞれのゲームで、トーナメント方式の試合をして、戦いました。学年関係なく試合をしているので、4年生も負けてはいません。逆に、6年生も安心できません。残念ながら負けた子は、勝った子たちの試合を見て学んだり、応援をしたりしてとてもほほえましい光景です。異学年で活動している良さがあるボードゲームクラブです。3学期はさらに強くなった子供たちの試合を見ることが、楽しみです。



ユニホッククラブ

プラスチック製のスティックとボールを使用したミニホッケー、ユニホック。12名で活動しています。簡単なパス練習とシュート練習をしたら実際のルールでゲームスタート。最初はボールを追いかけたり、前に思いっきり打ったりするだけでしたが、徐々に練習を繰り返していくうちに上達してきました。ボールタッチが滑らかになり、広がってボールをもらう動きができるようになりました。全力で走り回っている姿は真剣そのものです。

また、友だちには「ナイスカット！」や「ナイスシュート！」と活発に声を掛けあっています。一人一人が努力し、考え、協力しながら活動することができました。

